

昭和四十二年五月十三日満六十五歳の誕生日この稿を終る

山 口 弥 一 郎

追 記

初校がほぼ終つて、再校からは、編さん委員で特別に御配慮いただいた、坂内薫氏にも目を通していただくよう、最初より話合っていたが、突然の逝去の報をうけて、かけつけなければならないはめになった。かえすがえすも残念である。謹んで御冥ふくをお祈りするほかない。「今度は素晴らしい村誌ができるぞ」と大変期待しておいでになったそうである。

校正を綿密にするため、あらためて会津短大教授竜川清氏をわずらわした。厚く御礼申しあげる。

(昭和四二・八・二〇)